

海外進出 F S と企業戦略

海外進出の意思決定をサポートします！
海外進出の手順と管理点について研修します！

あどばる経営研究所

本研修の特徴

- 1 中堅・中小企業のための海外進出に力点を置きます！**
中堅・中小企業の中には海外進出の経験に乏しく、海外進出ノウハウ・情報が不足しているために、ビジネスチャンスを逃し又は失敗することが多い。
中堅・中小企業の経営者、海外進出プロジェクト担当者・スタッフのためのニーズに応えるべく研修カリキュラムを構成しています。
- 2 進出前と進出後に分けて課題検討します！**
進出前は現地調査と周到な準備が焦点となり、フィージビリティスタディによる海外進出 P J の意思決定をしなければなりません。進出後は現地での経営と本社での対応が課題となり、海外進出の成果を発揮させなければなりません。
海外進出を成功に導くためには、あらかじめこれらの進出前と進出後の両者について正確に理解しておくことが不可欠であり、理解がどちらかに偏ってしまうと P J が暗礁に乗り上げて失敗します。
- 3 海外戦略の先端的動きを知り、総合的な検討ができます！**
海外戦略は時代の変化に合わせて内容を変貌させます。また、中長期的な経営戦略の視点で検討することが必要です。
北米、EU、アジアの3地域を対象とした三極体制は従来のグローバル経営から大きく前進した世界戦略となっている。
特に最近の中国進出への関心と期待の高まりは顕著であり、反面失敗も大きいため特別テーマとして取り上げています。

研修内容

4 時間 / 回 × 6 回

オリエンテーション	海外進出の基本	進出前の調査と準備	進出先の投資環境リスク	海外進出 P J の実施	進出後の経営	中国進出の失敗事例に学ぶ
研修のねらい、スケジュール、心構えなどについて注意し、価値観を共有します。	海外派遣者の資質要件と養成 国際マーケティングの基礎知識 ローカルノウハウと技術優位性 ローカルノウハウとパートナー経営支配と現地化	進出目的と動機の整理 事前調査方法 F S (フィージビリティスタディ) の手順と判断 資金計画・資金調達の方法	後進国進出先の外資規制と投資奨励制度 先進国進出先の投資誘致策 進出先の投資環境リスク比較 ・東南アジア ・中国 ・中南米	P J (プロジェクト) 実施体制と組織 海外プラントエンジニアリング 海外プラント輸出 機材・材料・資材の調達 梱包、船積み、輸送の実際手配 建設工事と試運転	進出後の3段階におけるリスク管理 ・建設初期段階 ・経営草創期 ・成長期 救済策と撤退 進出先における日本的経営 人事・労務管理のポイント 本社の管理体制と権限委譲 P J の業績評価	ビジネス文化の摩擦による失敗 国内販売・貿易への過剰期待と失敗 企業進出検討段階の過剰期待と進出戦略の判断ミス 進出後の業務管理上の失敗 失敗防止のためのチェックポイント

研修のステップ

1 海外進出前の検討課題の研究

海外進出前の検討課題として、以下のテーマにより研修します。

- 海外進出の基本的知識の習得
- フィージビリティスタディ
- 投資環境調査（制約と奨励）

2 海外進出計画実施段階の検討課題の研究

海外進出計画の実施段階の検討課題として、以下のテーマにより研修します。

- 海外進出プロジェクトの建設段階の課題
- 進出後の現地における経営課題
- 進出後の本社における管理と現地への権限委譲

3 海外進出先の投資環境リスクの研究

海外進出先の投資環境リスクを、以下の分類別に対比することにより比較検討し、主たる進出先の問題点と課題をクローズアップさせます。

- 後進国進出先
- 先進国進出先
- 中国進出の特筆事項